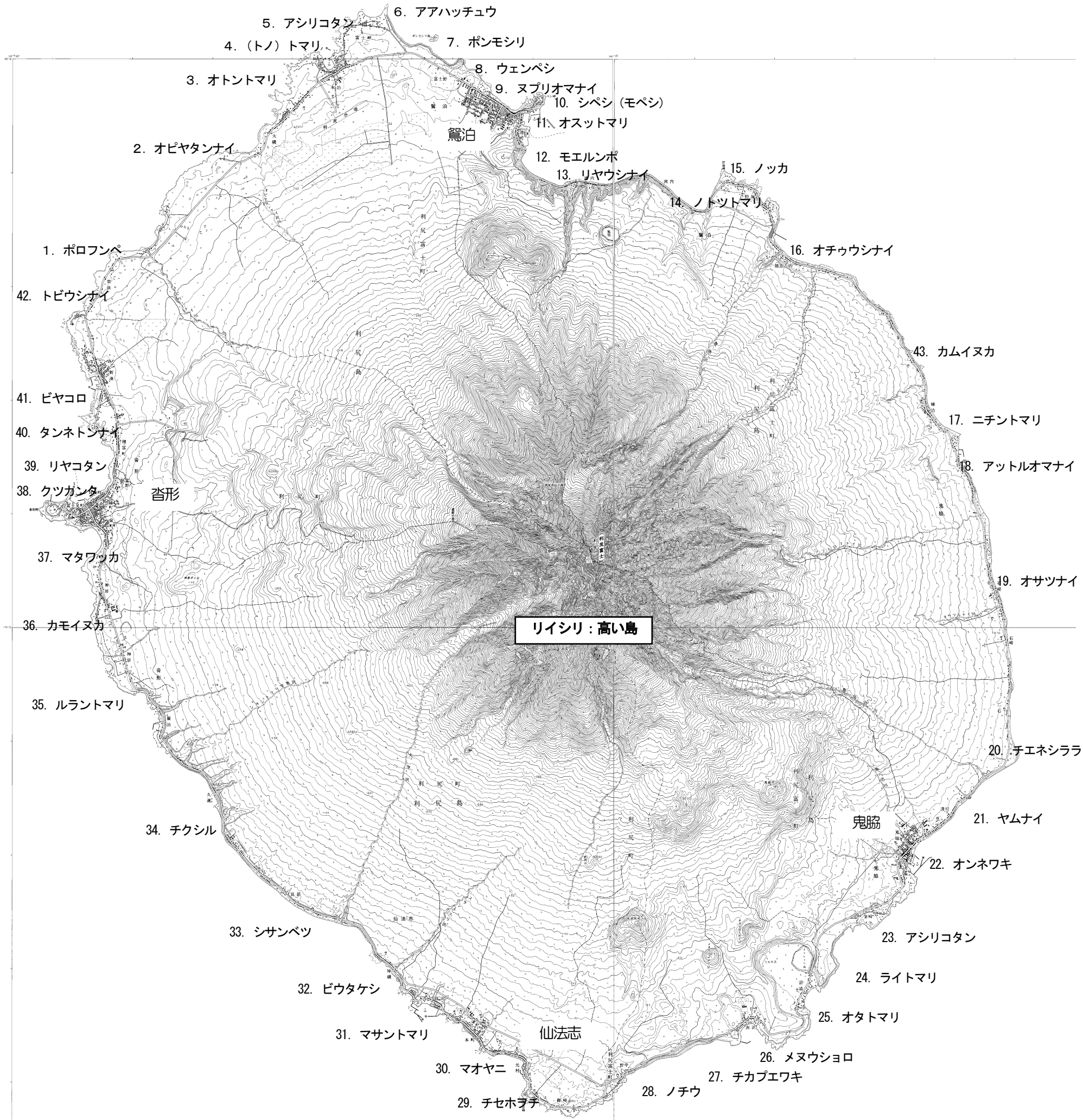




利尻のアイヌ語地名

利尻の地名は、開拓以前に住んでいたアイヌの人びとによってつけられました。その多くは、その土地の特徴や地形・川を表現したものです。今でもそのままの地名、発音を似せた地名が残されています。ここに載せた地名を参考に、今の地名と比べてみましょう。下欄に意味を掲載しています。



1. 大きいクジラ 2. 川尻に小石の岸のある沢 3. 砂浜がある入江 4. (殿様)入江 5. 新しい村 6. 浅い所を (打ち寄せる) 波 7. 小さな島
 8. 悪い崖 9. 山に入る沢 10. 大きな崖 (小さい崖…ペシ岬の付け根にあったが大正時代に切り出された) 11. 根元の入江 12. おだやかな小岬
 13. 越冬する沢 14. 岬についている入江 15. 岬の上 16. 川尻にいつも潮流のある沢 17. 林の崖下にある入江 18. オヒョウニレの木の間にある沢?
 19. 川尻が乾いている沢 20. 濡れている磯? 21. 冷たい沢 22. 大きい住まい (境界)? 23. 新しい村 24. 流れの停滞している入江 25. 砂浜のある入江
 26. 湧水池のある湾 27. 鳥の住んでいる所 28. 星、岬の潮流? 29. 小魚の多くいる所 30. ハマナスの多い所 31. 北風をしのご入江 32. 帰り船を迎える所
 33. 魚の川 34. 海岸の難所で波間を見て走り抜けるような所・道 35. 坂の下の入江 36. 神の岬の上 37. 冬も凍らない水のある所 38. 岩の多いその上の所
 39. 越冬する村 40. 長い沼のある沢 41. 石の丘の多くある所 42. 竹の多い沢 43. 神の像
- ※地名の解釈には、さまざまな見解があり、この答えが必ずしも正解とは限りません。

◆この件に関するお問い合わせは、利尻富士町教育委員会 (電話0163-82-1370) まで